



出航! メンバーはあだ名で呼び合う。後列左から、カイさん、エリさん、ひでさん、さくらさん、みずのさん、ふくしまさん、ノブウーさん、ナギサさん、ゴリさん。前列左から、ツナギくん、ふーちゃん、さーちゃん、だみさん、あやはさん、タナカさん、すーさん

出航&セールアップ!

往路は追い風。セールを揚げて帆走で行きます。



セールアップ、開始します!

メインセールはガブリグ。ガフハリヤードを引く!



出発!

セールアップ完了です! スイスイ進む~!



鬼に金棒、弁慶になぎなたカッターボートに風力!

私たちの足元には、6mという長さの「^鬼権」が置かれています。人数分あるけど、もしかして漕ぐの? 岸壁を見れば、2艇の船が海面で揺れています。ん?! ヨット? いや、ボートかな?

「これは、もともと“カッター”と呼ばれる種類の船で、みんなで息を合わせて漕いで進むのが特徴なんです。全国の水産・海洋高校や大学、海上自衛隊などでよく漕艇訓練に使われていて、ボーイスカウトでもおなじみ。とくに今日来ている2艇は、そのカッターにマストをつけた“セーリングカッター”なんですよ(海さん)

なるほど、そんなジャンルがあるんですね。人力&風力のハイブリッド船なんだ。ほう、ほう。この時はまだ魅力が分かっていない私。でも、この数分後には「ハイブリッド最高じゃん!」と叫ぶ出来事が起きるのであります。

脳みそか、筋肉か!? セーリングカッターがゆく

さて、「DIYで無人島航海計画」のスタートは、もともと海さんたちが知多半島の港に30年間放置されていたボロボロのカッターボート2艇を入手したことがきっかけでした。カチ割られてベンチになりかけていたカッターたちは、ギリギリで命拾い。

2年かけて海さんたちに修理され、新たにマストもつけてもらって息を吹き返し、三河湾と小豆島の航海に成功しました。

その間に知り合ったというのが、同じくカッターを愛するSCBCの皆さん。海さんたちのセーリングカッターを見て、「ん? それ(帆)いいね!」と、さっそくクラブの愛艇にマストをとりつけたのだとか。今日は、そんなSCBCの〈島風〉号と、海さんらが

オールで漕ぐローイングは未経験だが、セーリングなら得意なあやはさん。内海湾をスイーッと進みます。目指すは苗羽(のうま)の岸壁



楽しかったね



左: 苗羽の岸壁に到着。セールを降ろし、スクリングして接舷。やはり大潮、潮位が高い
下: 堀越の岸壁から約1マイル。ついに苗羽に到着です! ほとんどローイングしていないのでみんな元気(笑)



苗羽の岸壁周辺をぶらり旅

しょう油の醸造所が多数ある観光スポット、苗羽。ぶらりグルメ旅に出かけます♪



いただきます!

女子チーム&ツナギくんたちは、苗羽の公園でランチ♪



おまかせください

ゴミ捨て係をじゃんけんして……。あやはさん、見事ゴミ捨て権利ゲット!



ゴリさんが差し入れてくれたオリーブの塩漬。秋にしか食べられない名物です。超うまい!



しょう油&甘味=みたらし団子?と思っただけど、また違う味

しょう油ソフトを食べながら、苗羽の街をぶらり歩く



お姉さんたち、寝てます

ご飯も食べた、アイスも食べた。セーリングの疲れも出て、全員爆睡

修理した〈TUBAME〉号の2艇が来ている。というわけで、チーム分け。私は〈TUBAME〉ちゃんのクルーになりました。「今日の風は風速2m、北東の風です。つまり、目的地から吹いてきている向かい風。うまく風を捉えて走るか、もしくは力いっぱい漕ぐか!? 脳みそか、筋肉か、それが問題。チームで好きなほうを選んでくださいね!」(海さん)

失敗知らずのタッキング 楽しすぎる内海湾航海記

長い権を積みこみ、全員が配置につきました。同時に出港です。いざ、最初に目指すのはおいしいお宝、「小豆島のご当地スイーツ」です。先にたどりつくのは、〈TUBAME〉と〈島風〉どっちかな? 負けられんぞ! 私を含めた8人を乗せた

〈TUBAME〉は、順調なすべりだし。迷わず脳みそを選んだグウタラ軍師チームです。微風だけれど想像以上にどんどん進んで楽チン。一方の〈島風〉は……やっぱり帆を揚げていました。両者、頭脳戦の構えです。

「さて、向かい風なのでタッキングしながら進みましょうね。そろそろかな〜」と腰をあげたのは、スピリット・オブ・セイ



ココが弁天島!

さて、目的の無人島、弁天島を目指そう! 距離は目の前、苗羽の岸壁から約0.2マイル。しかし満潮で棧橋が水没している。どうしたものか!



上: 先行して調査に行ったレスキュー艇からの画像。棧橋、完全に海の下です!
右: 気をもんでも仕方ない。棧橋に着けられればそれでよし、無理ならビーチング! ということで出航



とりあえず出航!